

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公表番号】特表2010-500869(P2010-500869A)
 【公表日】平成22年1月14日(2010.1.14)
 【年通号数】公開・登録公報2010-002
 【出願番号】特願2009-520981(P2009-520981)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/711 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A
 C 1 2 N 15/00 A
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 K 31/711
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 39/395 E
 A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 K 48/00
 G 0 1 N 33/574 A

【手続補正書】
 【提出日】平成22年7月20日(2010.7.20)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

哺乳動物における胃癌の存在を診断する方法であって、コントロール試料と比較して該哺乳動物の被験胃試料においてc - M y b遺伝子が増幅されているかどうかを検出することを含み、c - M y b遺伝子の増幅が該哺乳動物における胃癌の存在を示す方法。

【請求項2】

c - M y b遺伝子が増幅されているかどうかの検出が、c - M y b遺伝子のコピー数が少なくとも5倍増加しているかどうかを検出することを含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

哺乳動物における胃癌の存在を診断する方法であって、該哺乳動物の被験胃試料中におけるc - M y b遺伝子の発現を検出することを含み、コントロール試料より高い被験胃試料中におけるc - M y b遺伝子発現のレベルが、該哺乳動物における胃癌の存在を示す方法。

【請求項4】

c - M y b遺伝子の発現の検出が、c - M y b遺伝子からのm R N A転写のレベルを決

定することを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

高レベルの c - M y b 発現が、被験胃試料中における c - M y b 遺伝子からの m R N A 転写に、コントロール試料の少なくとも 5 倍の増加を含む請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

c - M y b 遺伝子の発現の検出が、c - M y b のレベルを決定することを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

c - M y b 遺伝子の発現の検出が、被験胃試料を抗 c - M y b 抗体に接触させ、被験胃試料中における c - M y b の発現レベルを、c - M y b への抗 c - M y b 抗体の結合を検出することにより決定することを含む請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

高レベルの c - M y b 発現が c - M y b レベルの少なくとも 5 倍の増加を含む請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

c - M y b アнтаゴニストを含む薬学的製剤の有効量を、胃癌の個体に投与することを含む c - M y b 遺伝子の増幅又は過剰発現を伴う胃癌の治療方法に用いるための c - M y b アнтаゴニストであって、前記アンタゴニストが、c - M y b をコード化する核酸に結合するアンチセンス核酸；c - M y b の D N A 結合ドメインに結合する核酸；c - M y b に結合する抗体又は抗体断片をコード化する核酸；及び c - M y b に結合する抗体又は抗体断片、から選択される、c - M y b アнтаゴニスト。

【請求項 10】

c - M y b アнтаゴニストが c - M y b をコードする核酸に結合して該核酸の発現を減少させる 10 ~ 30 ヌクレオチド長のアンチセンス核酸であって、場合によって前記アンチセンス核酸はオリゴデオキシヌクレオチドである、請求項 9 に記載の c - M y b アнтаゴニスト。

【請求項 11】

c - M y b アнтаゴニストが、c - M y b の D N A 結合ドメインに結合する核酸である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

c - M y b アнтаゴニストが、c - M y b に結合する抗体又は抗体断片をコードする核酸であって、場合によって c - M y b に結合する s c F v である、請求項 9 に記載の c - M y b アнтаゴニスト。

【請求項 13】

胃癌の個体が c - M y b 又は c - M y b 遺伝子を標的とする治療剤に応答するかどうかを決定する方法であって、c - M y b 遺伝子が胃癌において増幅されるかどうかを決定することを含み、c - M y b 遺伝子の増幅が、個体が治療剤に応答することを示す方法。

【請求項 14】

治療剤が、アンチセンス核酸；c - M y b の D N A 結合ドメインに結合する核酸；c - M y b に結合する小有機分子；及び c - M y b に結合する抗体をコードする核酸から選択される請求項 13 に記載の方法。